



八雲

学校だより7月号

令和 8年 6月 30日

目黒区立八雲小学校

6月までの学校生活と今後に向けて

副校長 坪田 寛

今年度、八雲小学校では近年の温暖化の影響なども考慮し、運動会を秋開催としました。このことにより、年度当初、学級の中のルール作り、友だちとの関係作りなど、落ち着いた学級開きができ、春の学校生活の時間が安定し、充実したものになっています。

合わせて、体験的な学習も丁寧に計画、実施することができました。1,2年生の異学年交流を通した校外学習、3年社会科「わたしたちの目黒区」の学習では、各町会長の方々・住区住民会議の方々のお話を直接うかがう時間、4年社会科「ごみのしやりと利用」の学習では、清掃工場や水のことについて実際に行きって学ぶ時間等、たくさんの活動を行いました。集団で行動する上でのマナーや意義、教えていただいた方への感謝の気持ちを育むなど、どの学年も意識して行動しているところです。

また、子どもの自主性を育てるための活動にも力を入れています。各クラスの係活動や話し合い活動はもちろん、委員会活動やクラブ活動でも子どもたちが中心となって企画・運営できるように、動いています。「805運動」(8時から8時5分までの間に登校しよう)も計画委員会が主催です。

今後、後期にある運動会や学習発表会も子どもたちが主体的に取り組むことができる行事としていくために、子どもたちへのアンケートや話し合い活動を企画しながら、準備を進めています。

さらに、地域の方々や保護者の方々にもゲストティーチャーとしてご協力をいただくこともあります。ご協力の程、どうぞよろしくお願いします。



自己調整する力

本校では、子どもたちが目標を立て、自分に合った方法を選び、振り返りながら学びを改善していく「自己調整する力」の伸長を目指し、校内研究を進めています。

その取組の一つが「マイプラン」です。子どもたちは毎朝、マイプランを確認し、一日の予定や学習の見通しをもって学校生活をスタートします。また、金曜日のマイプランの時間には、翌週の予定や学習内容を確認し、「どのような準備が必要か」「どんなことを意識して取り組みたいか」を考えながら、翌週の見通しをもてるようにしています。

こうした取組を通して、必要な持ち物や学習の準備を自分で判断し、マイプランに書き込むなど、主体的に行動する姿が見られるようになってきています。

学習においては、自分で学習の目標を立て、自分に合った学び方を選びながら、進めています。学習後には、「どの方法が自分に合っていたか」「次はどのように取り組むとよいか」を振り返り、次の学びへと生かしています。

家庭学習でも、「漢字を重点的に練習しよう」「苦手の計算問題を繰り返し解こう」など、自分の学習状況や課題に応じて学習内容や進め方を調整することを目指しています。

今後も、「計画・実行・振り返り」の学びのサイクルを大切にしたい授業づくりや日々の教育活動を通して、子どもたち一人ひとりが自ら学び、生活を調整しながら成長できるよう、研究を進めていきます。

「集団の学び」+「個の学び」

学校生活では、友だちや学級、学年といった「集団」の中で学ぶ機会が多くあります。集団の中では、自分とは異なる考え方や感じ方に触れ、相手を理解しようとする力や協力する力を育むことができます。一方で、一人ひとりが自分自身と向き合い、「何を考え、どう行動するか」を見つめる「個」の学びも大切です。

集団の中で周囲に合わせるだけではなく、自分の考えをもち、必要な時には伝えることができる力が求められます。また、自分らしさを大切にしながら、相手の違いも認め合うことが豊かな人間関係につながります。

夏休みまで残りわずかとなりました。子どもたちには、友だちとの関わりを通して学んだことと、自分自身の成長を振り返る機会を大切にしながら、充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

生活目標「物を大切にしよう」

外遊びから教室に向かう際、上履きを踏みつぶしている児童がいます。上履きのかかとを踏み続けると傷みやすくなり、転倒やけがの原因にもなります。

また、自分の持ち物を大切に使うことは、物を大事にする心を育てることにつながります。上履きのかかとをしっかりと立て履き、安全で気持ちのよい学校生活を送ることができるよう日々指導しています。